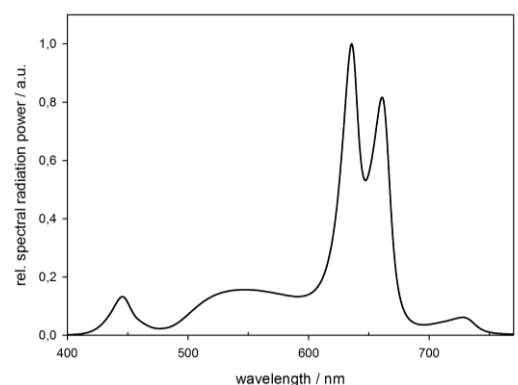


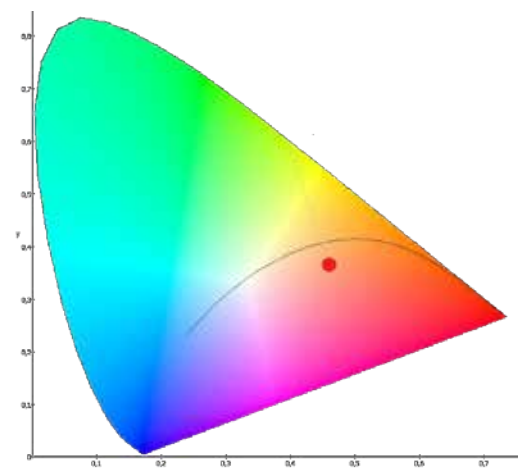
S2Wは、モジュールタイプで汎用性が高く、屋内の小規模な栽培スペースのための趣味の枠を超えたプロフェッショナルな植物工場用LED照明です。最高効率のLEDが、完璧な人工光栽培を可能にします。栽培スペース全体に均一に光を照射できるため、すべてのプラントが大きく早く育ち、安定した収穫となり栽培効率が高くなります。受動冷却システムと保護階級IP40で、メンテナンスフリーで高い安全性があります。S2Wは、さまざまな栽培スペースの条件にあわせて、柔軟に設置できるモジュールタイプです



S2Wの分光分布図



CIE 1931色空間における座標



電気的特性	値	単位
標準的な消費電力 ¹	62	W
力率 ¹	0,98	
入力電圧範囲 ¹	100-240	V (AC: 50/60Hz)
最大流力電流 ¹	0,4	A
最大出力電圧 ²	54	V (DC)
一定出力電流 ²	1,12	A
動作電圧 ³	49	V
動作電流 ³	560	mA

その他の特性	値	単位
放射する波長(色)の幅	400 - 760	nm
PPF (光合成有効量子束=400-700nm) ⁴	173	μmol/s
モジュール単位の光子量子効率 ⁵	2,9	μmol/J
S2Wシステムの光子量子効率 ⁶	2,7	μmol/J
照射角度 (長方形全体の光照射が、完全に均一)	90°	対称
x - 色座標 ⁷	0,47	暖かな温白色
y - 色座標 ⁷	0,38	
サイズ ²	150x53x35	mm
サイズ ³	450x75x45	mm
重量 ²	500	g
重量 ³	1300	g
ACケーブル全長	0,3	m
DCケーブル全長	2,5	m
IP保護階級 ²	IP67	
IP保護階級 ³	IP40	
動作保証環境温度範囲	5 - 35	°C
動作保証相対湿度の限界 ⁸	90	%

注釈

- 1 S2Wシステム全体
- 2 LEDドライバ電源ユニット
- 3 LEDモジュール
- 4 LEDモジュールのPPF (光合成有効量子束: 400-700nm)
- 5 LEDモジュールの1WあたりのPPF効率*
- 6 S2Wシステムの1WあたりのPPF効率* 7 CIE1931色空間による
- 8 凍結なきこと

* PPF効率での植物育成灯の評価について

従来の植物育成灯の評価は、色温度のほかに、「発光効率」といわれる、1Wあたりに放射できる光束(ルーメン)の数値が重視されていました。単位はlm/Wです。例えば、標準的なHPSの発光効率は120 lm/W、MHで90 lm/W、高出力ではない白色LEDが50 lm/Wほどです。現在でもHPSは、発光効率が最も高いランプのうちのひとつです。一方植物は、葉に当たった光束の大きさではなく、吸収できた光子の数で光合成量が決まります。そのため現在では、植物育成灯の評価は、放出できる光子の数が重視されるようになりました。PPF効率は、1Wあたりに放出できる光子の数を表しています。従来、高効率と言われてきた園芸用LED製品のPPF効率は1.5 μmol/Jほどです。

S2Wの有効放射栽培面積は1灯につき：60x40 cmが目安です。
設置方法や、設置計画につきまして、より詳しくは： support@sanlight.info へご連絡ください。